

# 山形市発展計画 2030

[令和7年度 ▶ 令和11年度]

令和7年3月策定

## 第1章 計画策定にあたって

- 1 計画策定の目的・・・・・・・・・・ P2
- 2 計画の位置づけ・・・・・・・・・・ P2
- 3 計画期間・・・・・・・・・・ P3
- 4 計画策定にあたっての考え方・・・・・・・・ P3
- 5 全体構成・・・・・・・・・・ P4
- 6 計画の推進に向けて・・・・・・・・ P5
- 7 SDGs(持続可能な開発目標)との関連・・ P6

## 第2章 2040年の展望

- 1 日本の状況・・・・・・・・・・ P8
- 2 山形市の状況・・・・・・・・・・ P16

## 第3章 2040年のまちの姿

- 1 2040年のまちの姿・・・・・・・・・・ P34

## 第4章 推進する19の政策

- 1 政策体系・・・・・・・・・・ P40
- 2 政策分野
  - テーマⅠ まちをつくる
    - 01 公共交通・・・・・・・・・・ P44
    - 02 都市整備・・・・・・・・・・ P46
    - 03 中心市街地・・・・・・・・・・ P48
    - 04 防災・・・・・・・・・・ P50
    - 05 コミュニティ・・・・・・・・・・ P52
    - 06 環境・・・・・・・・・・ P54
  - テーマⅡ ひとを育む
    - 07 教育・・・・・・・・・・ P56
    - 08 こども・・・・・・・・・・ P58
    - 09 健康・・・・・・・・・・ P60
    - 10 医療・・・・・・・・・・ P62
    - 11 福祉・・・・・・・・・・ P64
    - 12 文化・・・・・・・・・・ P66
    - 13 スポーツ・・・・・・・・・・ P68
  - テーマⅢ しごとを豊かにする
    - 14 商工・・・・・・・・・・ P70
    - 15 観光・・・・・・・・・・ P72
    - 16 農林・・・・・・・・・・ P74
    - 17 男女共同参画・・・・・・・・・・ P76
    - 18 シティプロモーション・・・・・・・・ P78
  - 未来へつなげる行政経営
    - 19 行政・・・・・・・・・・ P80
- 3 政策分野別主要事業・・・・・・・・・・ P82
- 4 政策分野別成果指標・・・・・・・・・・ P88

## 第5章 参考

- 1 SDGs(持続可能な開発目標)関連表・・ P92
- 2 政策に関連する個別計画・・・・・・・・ P94
- 3 用語集・・・・・・・・・・ P97

# 第1章

## 計画策定にあたって

本計画は、これからの5年間、どのようなまちづくりを行っていくかをまとめた山形市の最上位計画です。

まちづくりを進めるには、行政の取組だけではなく、市民、事業者、行政が連携して取り組んでいくことが大切です。

# 第1章 計画策定にあたって

## 1 計画策定の目的

国全体で人口減少・少子高齢化が急速に進行しており、今後、令和7年（2025年）には団塊の世代が後期高齢者に、令和22年（2040年）には高齢者人口がピークを迎えることが見込まれるとともに生産年齢人口の減少により、労働力不足や社会保障給付費の増大、税収減少等に加え、頻発する自然災害への対応などこれまでにない厳しい局面を迎えようとしています。一方で、Society 5.0を目指すデジタル化の進展や脱炭素化等の動きも急速に進み、日本社会全体が未来に向けて、大きく変化していくことが予想されます。こうした大きな社会環境の変化に対して的確に対応することで、不安定な将来予測の中でも地方創生のさらなる深化を図るチャンスを見出していかなければなりません。

このような中、山形市はこれまで健康医療先進都市・文化創造都市の2大ビジョンのもと、発展計画2025に沿って様々なチャレンジをしてきました。これからも引き続き、この2大ビジョンを堅持し、山形市が持つ強みや特長を徹底して活かしながら、元気で活力のある選ばれるまちづくりを進めていかなければなりません。

そのためには、産業、雇用、保健、医療、福祉、教育、文化、スポーツといった都市機能の維持とそれらをつなぐ公共交通等の都市インフラの充実や中心市街地の活性化、子育て施策の充実など各種政策を積極的に推進し、山形市が持つ強みや特長を活かしながら、災害に強く、持続可能なまちづくりに取り組んでいく必要があります。また、人口が減少している中、各種施策の推進にあたっては、ベースとなる視点（国の考え方・社会の基盤となる視点）、イノベーションの視点（新しい技術、市民生活や行政の事務を変革していく視点）、デザインの視点（前例のない課題や未知の問題に対して最適な解決を図るための視点）の3つの視点を持って戦略的に取り組んでいきます。

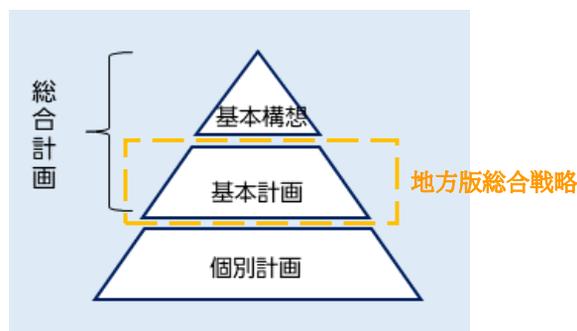
こうした考え方のもと、市民が将来に希望を持ちながら心豊かに暮らすことができる、元気で活力のある選ばれるまちを実現するため、本計画を策定するものです。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、総合的かつ計画的な市政運営を推進し、まちづくりの展望を示す山形市の最上位の計画（基本計画）として位置付けられるものです。

また、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条第1項に規定する「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略（地方版総合戦略）」を兼ねる計画とします。

【本計画と地方版総合戦略との関係】



### 3 計画期間

令和7年度（2025年4月）から令和11年度（2030年3月）までの5年間とします。

### 4 計画策定にあたっての考え方

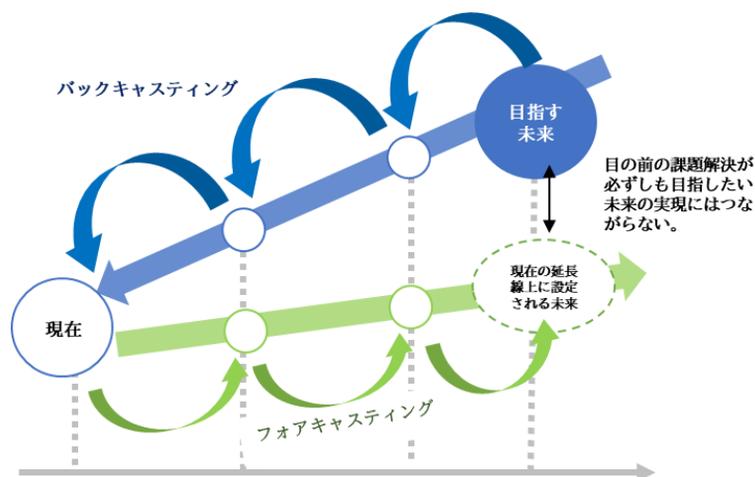
人々や社会を取り巻く環境が常に大きく変化している時代にある中、ゴールとなるべき目指すまちの姿をしっかりと描き、現時点から取り組むべきことを考えるバックキャストिंगの視点を持って、計画を策定するものです。

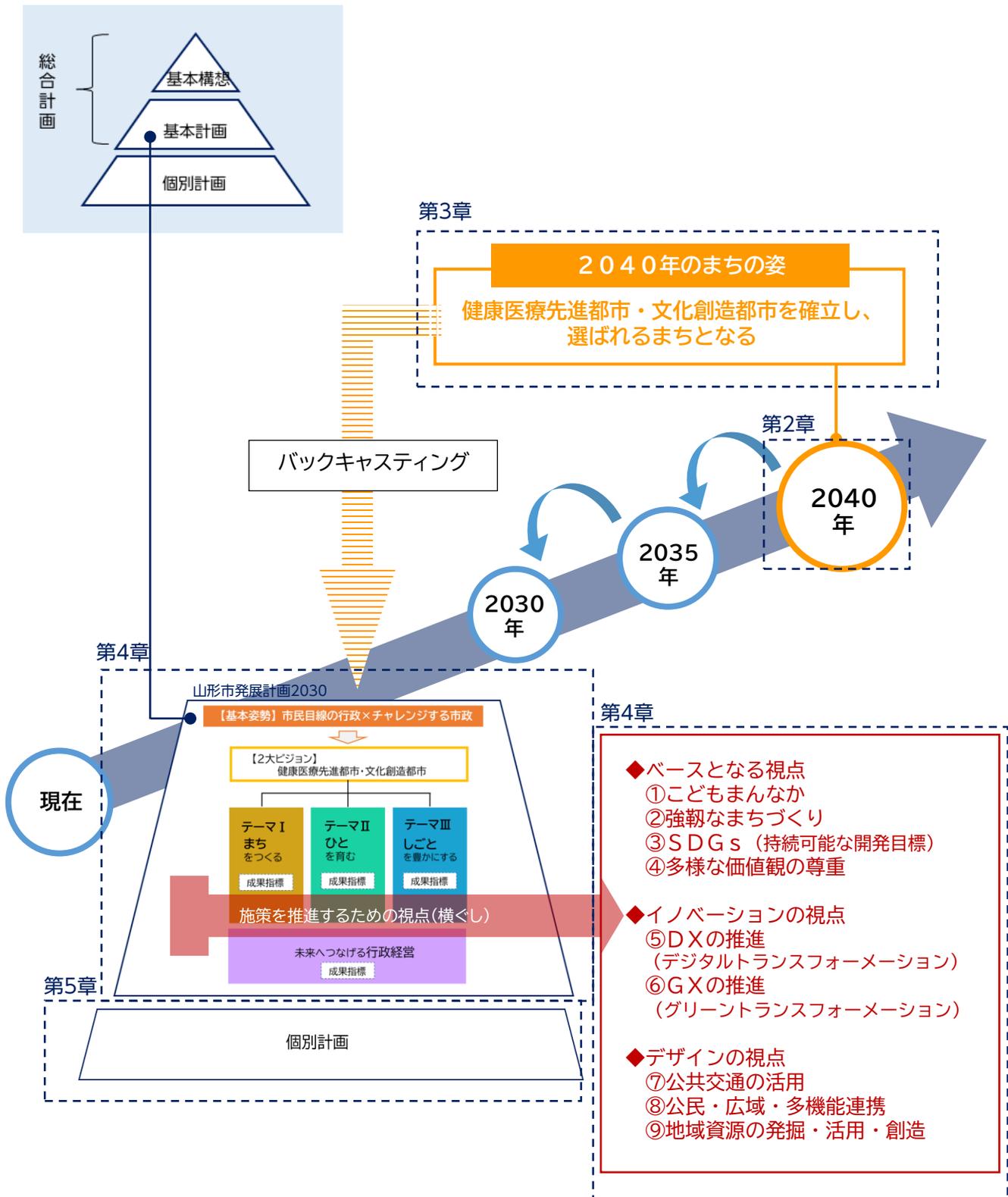
目指すまちの姿の起点は、高齢者人口がピークを迎え、人口構造の変化による医療・介護分野における需給ギャップの拡大、老朽化したインフラ・公共施設への対応など様々な課題が顕在化してくるとされる令和22年（2040年）とします。

これまで積み上げてきた成果を強みとして、直面する人口減少・少子高齢化などの状況下でも、令和22年（2040年）のまちの姿の実現に向け、令和12年（2030年）までのビジョンの実現と課題解決に取り組んでいきます。

また、地方版総合戦略を兼ねることから、デジタルの力を活用しながら、地方創生を図る視点での施策の実現を目指します。

#### 【イメージ（バックキャストिंगとフォアキャストिंग）】





## 6 計画の推進に向けて

### (1) 成果指標による進捗管理

本計画を着実に推進するため、設定した成果指標により計画の進捗管理を行うとともに、PDCAサイクルによる検証と改善に取り組んでいきます。

### (2) 「山形らしさ」の追求と「まねぶ」の実践

山形市の持つあらゆる資源やポテンシャルの中から、他にはない強みや特長といった「山形らしさ」を追求し、取組へ積極的に取り入れていきます。

加えて、他自治体の先進的な取組や好事例について、しっかりと理解し学び、取り入れられる部分は積極的に取り入れ、さらに山形市にあった形に深化させる、いわゆる「まねぶ（学ぶ）」を実践していきます。

#### まねる

1. 他の人や物に似せる。  
まねをする。模倣する。



#### まなぶ(まねぶと同語源)

1. 勉強する。学問をする。
2. 教えを受けたり見習ったりして、  
知識や技芸を身につける。習得する。
3. 経験することによって知る。
4. まねをする。

資料：デジタル大辞典

#### >まなぶ と まねる

「学ぶ（まなぶ）」は、「まねぶ（学ぶ）」と同語源で、「まねる（真似る）」とも同じ語源になっています。「真に似せる」の意味から「真似（まね）」や「まねぶ」が生まれ、「まなぶ」という語が生じたとされています。

資料：語源由来辞典

### (3) 持続可能な行政経営の推進

顧客満足度の高い行政サービスを安定して提供し続けるため、山形市を取り巻く社会環境や市民ニーズに的確に対応しながら、将来にわたる財政の健全化や効率的な行政経営を実現していく必要があります。

そのため、組織・人材・財源などの限られた経営資源を有効に活用し、市民目線の行政・チャレンジする市政を目指すと同時に、EBPM（データや証拠等の合理的根拠に基づく立案）に基づいた事業の見直しによる選択と集中を行うことにより、持続可能な行政経営に取り組んでいきます。

SDGs(持続可能な開発目標)は、平成27年(2015年)9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された平成28年(2016年)から令和12年(2030年)までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人取り残さない」ことを目標としています。

国においても、その実現に向けて「SDGs推進本部」を設置し、国内実施と国際協力の両面で率先して取り組むこととし、その指針となる「SDGs実施方針」を決定しています。

SDGsの理念や目標は、将来にわたり持続可能なまちをつくり、そして次の世代へと引き継いでいくためにも、市民や事業者など多様な主体と連携を図りながら、取組を進めていく必要があります。

そのため、本計画とSDGsにおける17のゴールとの関連性を明らかにし、多様な主体とその意義を共有しながら、本計画を着実に推進していくことによりSDGsの実現に寄与・貢献していきます。

なお、第4章にある19の政策に紐づく施策と関連するSDGsについては、第5章に一覧として表示しています。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

